

平成30年度 1 級水路測量技術研修

1. 研修のコース (1) 港湾級 (2) 沿岸級

2. 研修期間

研修は前期及び後期に分け、港湾級は前期、沿岸級は全期間とします。

前期 平成30年5月 7日(月)～5月19日(土) 12日間

後期 平成30年5月21日(月)～5月26日(土) 6日間

※ 各期とも日曜日を除く毎日9時30分～17時00分まで。

(ただし、前期及び後期最終日は9時30分～16時頃まで。)

3. 研修会場 一般財団法人 日本水路協会 電話 03-5708-7076

〒144-0041 東京都大田区羽田空港1-6-6 第一綜合ビル6F

4. 募集人員 約20名 (先着順)

5. 受付開始 **平成30年2月12日(月)**

6. 申込期限 **平成30年3月23日(金) (当日消印有効)**

7. 受講資格

(1) 港湾級

- イ. 海上保安庁又は日本水路協会認定2級水路測量技術(沿岸又は港湾)検定試験に合格した後、沿岸又は港湾の水路測量の実務経験2年以上の者
- ロ. 大学を卒業した者又は会長がこれと同等の資格を有すると認めた者で、沿岸又は港湾の水路測量の実務経験2年以上の者
- ハ. 短期大学又は高等専門学校を卒業した者又は会長がこれと同等の資格を有すると認めた者で、沿岸又は港湾の水路測量の実務経験4年以上の者
- ニ. 高等学校を卒業した者又は会長がこれと同等の資格を有すると認めた者で、沿岸又は港湾の水路測量の実務経験6年以上の者

(2) 沿岸級

- イ. 海上保安庁又は日本水路協会認定2級水路測量技術(沿岸)検定試験に合格した後、沿岸の水路測量の実務経験3年以上の者
- ロ. 大学を卒業した者又は会長がこれと同等の資格を有すると認めた者で、沿岸の水路測量の実務経験3年以上の者
- ハ. 短期大学又は高等専門学校を卒業した者又は会長がこれと同等の資格を有すると認めた者で、沿岸の水路測量の実務経験5年以上の者
- ニ. 高等学校を卒業した者又は会長がこれと同等の資格を有すると認めた者で、沿岸の水路測量の実務経験7年以上の者

8. 期末試験

前・後各期末には、期末試験があり、全科目の合格者には、該当級の修了証書が授与されます。ただし、測量士の有資格者に限り、基準点測量の試験が免除されます。

9. 特 典

研修を修了した者は、日本水路協会認定の1級水路測量技術検定試験において、申請により一次試験（筆記）が免除されます。

10. 受講料及びテキスト

◆受講料(テキスト代を含む) (単位:円)

受講期間	受講料(税込)
前期 (12日間)	180,000
	162,000
後期 (6日間)	117,900
	106,100
全期間 (18日間)	268,400
	241,600

◆テキスト(図書)

(単位:円)

図書名	価格	発行
(前・後期) 水路測量関係規則集 (平成26年4月第8版)	1,330	海洋調査協会
海洋調査技術マニュアル深淺測量 (平成27年10月第5版)	3,080	海洋調査協会
水路測量 第1巻 (平成26年3月増刷版)	4,320	日本水路協会
水路測量 第2巻 (平成26年1月増刷版)	1,620	日本水路協会
(後期)水路測量 第3巻 (平成27年3月増刷版)	2,808	日本水路協会

(注) 受講料の各期下段の金額は、日本水路協会賛助会員又は海洋調査協会の会員に適用します。

テキストとして上記図書を使用しますが、すでにお持ちの方は受講料から図書の価格を差し引いた金額を受講料とします。

なお全期とは、前期・後期とも同一人の場合に限りません。

受講料には消費税が含まれております。

11. 携 行 品

(1) 卓上計算機 (三角関数付) (2) 定規(15~20cm) (3) 筆記具、ノート

12. 申込先及び問い合わせ

別添申込書に必要事項を記入し、下記の住所に送付するとともにEメールにて申込書を送付した旨の連絡をしてください。

一般財団法人 日本水路協会 技術指導部

住所 〒144-0041 東京都大田区羽田空港 1-6-6 第一綜合ビル 6F

電話 03-5708-7076 FAX 03-5708-7075 E-mail : gi_jutsu@jha.jp

13. 受講料の支払方法

受講申込をした方には、当協会から連絡担当者あて申込受付メールをお送りしますので、受講料は、その後に指定の口座にお振り込みください。

研修会場



平成30年度の1級水路測量技術検定試験は、平成30年7月7日(土)に東京((一財)日本水路協会・第一総合ビル)にて実施します。また、研修受講者の願書受付は、研修修了後に開始致します。

平成30年度 1級水路測量技術研修受講申込書

一般財団法人 日本水路協会
会 長 殿

会 社 名

所 在 地 〒

代 表 者 名

印

連 絡 担 当 者 名

連 絡 所 在 地

TEL : _____

FAX : _____

E-mail : _____

平成30年度1級水路測量技術研修に下記職員を参加させたく申し込みます。

ふりがな		生年月日 (年齢)
氏 名		S H 年 月 日 (歳) 男・女
所 属 部 署		
メー ル ア ド レ ス		
1 最 終 学 歴		
2 検 定 試 験 歴	・沿岸2級 ・港湾2級 ・無し	
3 資 格	・測量士 ・無し	
4 実 務 経 験 年 数	(別紙用紙に記載してください)	
5 受 講 期	・前期 ・後期 ・全期間 (前期・後期)	
6 協 会 会 員	・日本水路協会の賛助会員 ・海洋調査協会の会員	

1) 卒業証明書又は、写しを添付してください。

3) 測量士の資格所有者は、その登録通知書又は、登録証の写しを添付してください。

5) 受講期に○を付けて下さい。

6) 日本水路協会の賛助会員または海洋調査協会の会員は○を付けて下さい。

☆受講料は、申込み受付後、メールによりお知らせしますので、その後の振込みとなります。

【テキスト (図書) の有無】 テキストをすでにお持ちの方は、有に○を付けてください。

使用期	図 書 名	有無	使用期	図 書 名	有無
前 期	水路測量関係規則集 (平成26年4月第8版)	有・無	後 期	水路測量 第3巻 (平成27年1月増刷版)	有・無
	海洋調査技術マニュアル 深浅測量 (平成27年10月第5版)	有・無			
	水路測量 第1巻 (平成26年3月増刷版)	有・無			
	水路測量 第2巻 (平成26年1月増刷版)	有・無			

水路測量に関する実務経歴

実務経歴を下欄に記入し、事業所代表者の証明を受講申込書と一緒に提出してください。ただし、証明の得られない場合は誓約書を提出してください。

番号	事業所				実務経歴年数	
	名称	所属部課	所在地	所属期間	従事比率	年数
1				年 月から 年 月まで	%	
2				年 月から 年 月まで	%	
3				年 月から 年 月まで	%	
4				年 月から 年 月まで	%	
5				年 月から 年 月まで	%	
実務経歴年数合計				年	か月	

上記のとおり相違ないことを証明する

年 月 日

所在地

事業所名

印

代表者

印

誓 約 書

一般財団法人 日本水路協会
会 長 殿

水路測量に関する実務の経歴の記載は真実であることを誓約します

年 月 日

住 所

氏 名

印

(自 署)

平成30年度1級水路測量技術研修日程表

全期間（港湾級・沿岸級） 5月7日～5月26日（18日間、日曜を除く）

前期（港湾級・沿岸級） 5月7日～5月19日（12日間、日曜を除く）

後期（沿岸級） 5月21日～5月26日（6日間、日曜を除く）

研修時間： 午前9時30分～12時00分、午後13時00分～17時00分

研修会場： 第一総合ビル6階（一財）日本水路協会研修室

研修は前期及び後期に分け、港湾級は前期、沿岸級は全期間の受講とする。

《前期》（港湾級・沿岸級）

月日	曜日	科目	内容
5月7日	月	水深測量（測深）	マルチビーム音響測深機と実習概要
		基準点測量	計画、測定方法、計算及び調整 海岸線測量、資料の作成
8日	水	潮汐観測	理論、計画、観測、資料の作成
9日	水	水深測量（測位・測深）海上実習	マルチビーム音響測深機の取扱い 海上実習他（保田漁港）
10日	木	水深測量（測深）	マルチビーム音響測深データの解析
11日	金	水深測量（測深）	マルチビーム音響測深データの解析
12日	土	水深測量（測位・測深）	計画、測位用基準点の測定、測定値の評価・調整 測量船の誘導、音響測深、記録の整理、資料の作成
14日	月	水深測量（測深）	サイドスキャンソナーの原理・構造
		潮汐観測	理論、計画、観測、資料の作成
15日	火	潮汐観測	観測、資料の作成
16日	火	水路測量と海図	海図概論（地図投影概論を含む）
		法規	国内法、国際法（安全管理と技術倫理を含む）
17日	木	水深測量	測深と基準面
18日	金	水深測量	資料の作成
		基準点測量	測地、GPS/GNSSによる位置測定
19日	土	水深測量	デジタル測量成果
		修了試験	前期修了試験（1330～1600）

平成30年度1級水路測量技術研修日程表

後期（沿岸級） 5月21日～5月26日（6日間、日曜を除く）

研修時間： 午前 9時30分～12時00分 、 午後13時00分～17時00分

研修会場： 第一総合ビル6階 （一財）日本水路協会研修室

《後 期》（沿岸級）

月 日	曜日	科 目	内 容
5月21日	月	海底地質調査	地学一般、海底地形地質概論
22日	火	海底地質調査	海底調査計画、音波探査・底質調査機器の原理・構造・取扱い
23日	水	地図投影	地図の投影 測地計算
24日	木	海底地質調査	音波探査記録及び採集底質の解析
25日	金	海底地質調査	海底地質構造図・底質分布図の作成
26日	土	水深測量	測量成果の作成、海底地形図（素図）の作成
		修了試験	後期修了試験（1330～1600）